



2/24

▲ 大和市立南林間中学校にて特別支援学級のデージー教科書による授業を視察。普及への取り組みを確認。



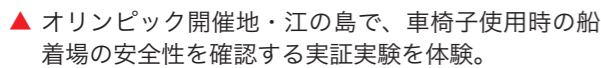
5/8

▲ 京急八丁駅駅前「京急川崎第1踏切」事故現場を視察。非常時の対応について下校中の小学生に尋ねる。



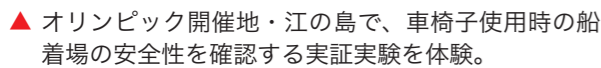
6/12

▲ オリンピック開催地・江の島で、車椅子使用時の船着場の安全性を確認する実証実験を体験。



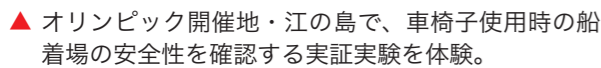
6/26

▲ 精密部品加工会社の製造現場を視察。製品を手に、ものづくりへの情熱と要望を伺う。



2/27

▲ 国立研究開発法人水産研究・教育機構中央水産研究所を視察。水産業の発展へ課題を探る。



5/20

▲ 今年は家族全員で田植え。営農される皆さまの想いとお苦労を肌身で実感。小田原市内にて。

給付型奨学金 創設!!

三浦のぶひろの挑戦!

昨年、皆さまの絶大なるご支援により初当選させていただき、1年が経ちました。参議院議員として初の第193通常国会。150日間の論戦に臨みました。所属する文教科学委員会、議院運営委員会、震災復興特別委員会、資源エネルギー調査会に加え、予算、厚生労働、環境の各委員会で質問に立たせていただきました。候補者の時に、お訴えさせていただいた返済不要の給付型奨学金制度の創設。細部にわたる制度設計に携わるとともに、公明党・自民党を代表して本会議にて質問いたしました。その結果、多くの要望も盛り込まれ、2017年度先行実施、2018年から本格実施が決定し、運用が始まっております。皆さまの応援、後押しによりお約束の一つ実現することができました。更なる制度拡充を目指し、全力で取り組みます。引き続き、ご声援の程、宜しく願い申し上げます!

三浦のぶひろ

Profile

1975年3月5日生まれ、42歳。横浜市港南区在住。家族は妻と娘と愛犬。宮城県仙台市出身。福島県立福島高校、千葉工業大学金属工学科を卒業後、防衛大学校精密機械工学科(現機械システム工学科)助手に。2003年、東京工業大学にて工学の博士号取得。4年おきに開催される先進発電機器材料の国際会議で、最優秀の発表者に贈られる「ベストポスター賞」を連続受賞(02年・06年)。2012年、防衛大学校で最年少の准教授に就任。2016年7月、第24回参議院通常選挙神奈川選挙区初当選1期。参議院 文教科学委員会、議員運営委員会、東日本大震災復興特別委員会、資源エネルギー調査会各委員。公明党 党国際局次長・青年局次長・東海道方面副本部長・神奈川本部副代表、ロボット産業推進議員連盟会長。



三浦のぶひろ公式ウェブサイト



LINE で友だち追加



メルマガ登録

現場の声を国会へ

給付型奨学金制度を創設

若者の声を国政に！！

皆さまから頂戴したお声、応援が力となり、皆さまとお約束した給付型奨学金制度を実現することができました。

日本の未来を決める教育。三浦のぶひろは、経済的理由で進学をあきらめることがない社会、教育格差が経済格差とならない社会をつくるため、論戦に挑みました。公明党文部科学部会では、国公立・私立・自宅・下宿などの経済的負担を考慮し、各学生に見合った額の奨学金制度を主張。加えて、入学金に相当する金額の補助の必要性も考慮しなければならぬことを訴え、これらが反映された制度となりました。本会議の代表質問では、高校認定試験の合格者や高校卒業をした浪人生においては2年以内であれば給付型奨学金の申込が可能と文科相から答弁を。これは、対象範囲を広げた初めての明言です。きめ細かい制度設計を目指して、質問に取り上げた結果です。

給付型奨学金制度の概要

私立に進学する下宿など自宅外生 **4** 万円/月

国公立に進学する下宿など自宅外生 **3** 万円/月
私立に進学する自宅生 **3** 万円/月

国公立に進学する自宅生 **2** 万円/月

社会的養護を必要とする学生への支援 **入学金相当額を追加給付**

※家計基準：住民税非課税世帯／進学先：大学、短大、高等専門学校、専門学校／学力などの基準：学習成績や学校活動の成果など一定の要件を満たした生徒の中から学校が推薦／2017年度から一部先行実施



石川県かほく市で開催された「公明党ユーストークミーティング」に参加。教育への経済負担など、現実的な意見をお聞きしました。



参議院文教科学委員会にて、給付型奨学金の制度設計などの細部について質問。



給付型奨学金がスタート。喜びの声を聞き、笑顔がはじけました。



給付型奨学金の拡充等の実現に向け、総理に直接申し入れ。更なる拡充に挑戦。

奨学金拡充の歩み

50万人 100万人 132万人

1998 1999 2003 2004 2008 2014 2017 年度

1998	1999	2003	2004	2008	2014	2017
98年以前、奨学金を利用できるのは限られた学生だけ	1988年の公明党提言を受け、第2種奨学金が発足(きぼう21プラン)	入学金用の奨学金を創設(有利子)	留学者希望者向け奨学金を創設(有利子)	大学生、大学院生の貸与額の選択肢を拡大(有利子)	高校生等奨学給付金を創設	給付型奨学金の創設

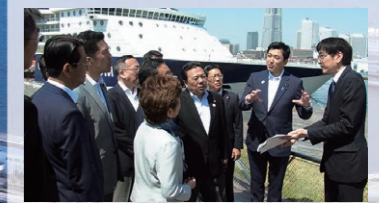
神奈川を元気に！！

港湾・周辺環境整備へ、物流も旅客も日本一の京浜港へ

横浜港・川崎港は東京港とならび日本の中核を成す工業港。本年3月の予算委員会にて港湾と周辺環境の一体的整備、国際コンテナ戦略港湾施策の加速、バンカリング拠点整備の推進を訴えました。また、5月には港湾法を改正。旅客施設などを港湾に建設したクルーズ運行会社の岸壁優先使用が可能に。神奈川を、日本を発展させる港づくりに取り組みます。

日本の農業を元気に！ 営農者を応援していきます！

「2016年産米の食味ランキング」で最高評価の「特A」に選出されたブランド米「はるみ」の生まれ故郷、平塚にあるJA全農 営農・技術センターを訪問。開発のプロセスとご苦労を伺いました。営農者の所得向上は持続可能な日本の農業のためにも不可欠。現場に足を運び、声を伺い日本の農業活性化へ走り抜きます。



横浜港大さん橋国際客船ターミナル及び船上から横浜港の未来を展望。(2017/5/8)



平塚生まれのブランド米「はるみ」を開発した全農の営農・技術センターで。(2017/3/17)

東日本大震災の復興支援

被災地域の産業振興で復興を前進！

昨年、東日本大震災・復興加速化のための与党第6次提言では、国が廃炉人材の育成を進めること、国が廃炉の技術的能力を知的財産として関わることの2点を私が提案しました。そして今国会で福島復興特措法が成立。特許料減免制度が実現し、地元企業をはじめ、廃炉技術、復興に寄与する仕事を応援できるようになりました。

廃炉を目指して。

原発事故による深刻な放射能汚染が残る福島県。環境創造センターは、放射能汚染を回復させ、新たな未来を創造する拠点です。放射線に関する知識の教育、除染とともに廃炉への技術の向上。未だ残る福島第一原発事故の爪痕を一日も早く復旧させ、廃炉に向けた技術開発を支援してまいります。



「福島遠隔技術開発センター」にて、廃炉開発技術の最前線を視察。(2016/9/23)



放射線の正確な知識の普及のため設けられた「福島県環境創造センター」。(2016/9/23)

自衛隊

自衛官の働きやすい環境づくり。

災害時に緊急に派遣される自衛隊員。ハード・ソフト面の充実は欠かせません。子育て世代の自衛官の支援体制、女性自衛官の活躍について予算委員会で取り上げ、現場での取り組みも視察しました。緊急時にお子さんを受け入れる体制・官舎併設の託児所が整備されつつあります。現状改善に全力で取り組みます。

隊員の皆さんとともに。

海上自衛隊遠洋練習航海部隊の出国、帰国行事、防衛大学校卒業式、さらに陸上自衛隊東部方面混成団の入隊式や卒業式などに出席。国民の生命と財産、平和と安定を守る崇高な任務につかれる皆さんに敬意を表するとともに、戦争のない社会であり続けるため、たゆまぬ努力をし続けることをお誓いします。



陸上自衛隊朝霞駐屯地の厚生センターにある保育園を視察。(2017/3/8)



陸上自衛隊武山駐屯地にて第31普通科連隊の創隊55周年の記念行事にて挨拶。(2017/2/4)

参議院議員

三浦のぶひろ

現場の声を国会へ

現場の声を国会へ

現場の声を国会へ